

会 議 録

- 1 会議名
令和4年度第4回吉川区地域協議会
- 2 会長挨拶
- 3 議題（公開・非公開の別）
 - ・報告事項（公開）
 - (1) 会長報告
 - (2) 委員報告
 - (3) 事務局報告
 - ・協議事項（公開）
 - (1) 令和4年度地域活動支援事業について
 - (2) その他
 - ・総合事務所からの諸連絡について（公開）
 - ・その他（公開）
- 4 開催日時
令和4年6月16日（木）午後6時30分から午後7時53分まで
- 5 開催場所
吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室
- 6 傍聴人の数
0人
- 7 非公開の理由
なし
- 8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）
 - ・委員：五十嵐豊、薄波和夫、江村奈緒美、片桐利男、佐藤 均、関澤義男、高野幸夫、中村正三、橋爪正平、山岸晃一
 - ・柿崎区総合事務所：滝澤産業グループ長、小林産業グループ農政班長
 - ・事務局：風間所長、平山次長（総務・地域振興グループ長兼務）、渡邊市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振興グループ班長、霜鳥総務・地域振興グループ主任
- 9 発言の内容（要旨）

【平山次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・委員10人の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：江村委員

【山岸会長】

- ・挨拶

【平山次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・議長を務めさせていただく。なお、議事録作成のため、発言をする場合は、挙手をし、私から委員の名前をお呼びするので、その後、発言をお願いする。発言は簡潔にお願いする。

【山岸会長】

- ・次に次第の3協議事項（1）会長報告である。1点目5月26日（木）午前11時から1時間程度、委員7人が参加し、木田庁舎で、中川市長と意見交換を行った。内容は、事前送付したとおり。質問などないか。
（意見・質問は無かった。）

【山岸会長】

- ・次に6月29日（水）午後6時30分から、頸城区のユートピアくびき希望館で、頸北4地区の地域協議会委員と市長との懇談会を予定している。委員からは、出欠ならびに、市長への質問事項を提出していただいたが、それぞれの区でも委員からの質問を集めている。6月18日（土）の4区の正副会長会議で質問事項やテーマを決定し、委員にお知らせする。こちらについて、質問はあるか。
（意見・質問は無かった。）

【山岸会長】

- ・次に6月2日柿崎病院後援会に薄波副会長が出席されたので、報告願う。

【薄波副会長】

- ・資料のとおり、役員変更等について説明

【山岸会長】

- ・こちらについて、質問は、あるか。

(質問は無かった。)

【山岸会長】

- ・次に次第の3(2)委員報告は、あるか。

(案件は無かった。)

【山岸会長】

- ・次に次第の3(3)事務局報告は、あるか。

(案件は無かった。)

【山岸会長】

- ・それでは、次第の4協議事項(1)中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について、柿崎区産業・建設グループ、説明をお願いします。

【柿崎区総合事務所：滝澤産業グループ長】

- ・資料1-1、1-2のとおり説明

【山岸会長】

- ・こちらについて、質問は、あるか。

【江村委員】

- ・資料6ページの浦川原区、中郷区・清里区、柿崎区と吉川区のワークショップについて、お聞きしたい。

【柿崎区総合事務所：滝澤産業グループ長】

- ・市では吉川区のお願いをはじめ7つの自治区で実施している。市とは別に浦川原区は明治大学主導のフューチャーデザイン・ワークショップ、中郷区・清里区は県主導のビレッジプランによる話し合いが行われている。柿崎区は下黒川と黒岩の2地区で第5期対策開始時に協定広域化の議論を実施済みで行動戦略は完成しており、現在それぞれの団体と直接話をしている状況である。

【山岸会長】

- ・他にはいかがか。

【橋爪委員】

- ・吉川区は63名が参加されているということであるが、集落協定毎に何名参加され

ているか。

【柿崎区総合事務所：滝澤産業グループ長】

- ・資料1-2のとおり、川谷・石谷集落協定は3名、みなもと地区広域協定は3名、他の集落協定からは1名ずつ、その他に関係行政機関の職員が参加している。参加者は、会長や副会長というよりも実際に活動されている方や色々なご意見をお持ちの方をお願いしている。女性もお願いしているが、吉川区は男性のみの参加となっている。

【高野委員】

- ・移住者・担い手の確保のための将来の取組をどのように考えているか。

【柿崎区総合事務所：滝澤産業グループ長】

- ・吉川区の農業を守るために移住者・担い手の確保が必要という意見をいただいている。今回は意見を出していただいたところあり、今後具体的に農家や県・施設・関係機関がやるべきことは3回目以降で示す。

【高野委員】

- ・スマート農業導入は、狭い地域で経費を考えると導入は難しい。市は進める考えはあるのか。

【柿崎区総合事務所：滝澤産業グループ長】

- ・9ページのドローンについては、条件によって使いやすい場所と使いにくい場所はあると思うが、話し合いでは吉川区には農業生産法人が沢山ある。農業法人も後継者・担い手不足が課題であり、それぞれの農業法人の機械をうまく共同利用しながら経費を節減したり、時には担い手を借りたりしながら、労力を軽減できないか考えているところである。ドローンは一つの意見として注目されているので出ているが、そればかりではない。きつい、つらい農業を機械化・IT化を考えていきたいと思いますという意見が出ている。

【山岸会長】

- ・他にはいかがか。
- ・小麦粉の高騰により米粉を売りに出して欲しい。米の消費販売を増すことによって、産業に参入する若者も出てくる。商売として成り立つよう、行政も手助けをお願いする。

【柿崎区総合事務所：滝澤産業グループ長】

- ・現在、肥料や燃料も高騰する中で農業者ばかりでなく色々な対策を組んで対応しているところであり、市も国の施策に沿って進めたい。上越は米粉の活用について進めているところである。

【山岸会長】

- ・他にはいかがか。
(意見・質問は無かった。)

【山岸会長】

- ・次に次第の4(2)自主的審議事項等について、地域活動支援事業が今年度で終了し、次年度からは、地域独自で事業を考え、提案する。それから、「地域活性化の方向性」について検討を始めることが、4月の協議会で事務局から説明があった。地域独自の事業提案に関しては、地域住民や様々な地域の団体と意見を交わし、まとめ上げた事業を意見書として、市・担当課へ提出するやり方と、元気づくり事業として提案するやり方がある。また、「地域活性化の方向性」の検討については、年度内に着手して欲しいとなっている。協議会が中心となって提案する事業については、令和5年度で実施しようとする、この9月には内容が固まっていないと予算編成に間に合わないということになる。従って、スケジュールは、9月を目途に、何らかの形(事業)を示す必要があると思っている。そこで、委員が、本協議会に先んじて、考えをめぐらせておいて欲しいと思い、手紙と福祉懇談会の資料を差し上げた。まず、全体を通じて、意見や確認しておきたいことがあれば、願います。各委員の意見を聞きたい。

【平原班長】

- ・皆様には手紙を出しっ放しとなっており、申し訳ない。こちらに問い合わせや意見が寄せられていない。

【山岸会長】

- ・それではこの場で意見をお聞きする。事務局から一つのアイデアとして、支援事業は終わってしまったが、どうしても残していかなければならないものがあればそれを取り上げるとか、色々あるかと思うが、橋爪委員いかがか。

【橋爪委員】

- ・吉川区総合事務所は、なんでも柿崎区総合事務所を経由して吉川区総合事務所の独自性を発揮できない行政手法に変わってきているように感じる。吉川区総合事務所

が独自の発言ができない状況を都度、私自身が感じている。市の運営方法は本所ありきではないか。私は地元ありきではないかと思っている。今も中山間地の件も柿崎から来ているが、「中山間地の説明くらい吉川区産業建設窓口班長がしてよ。」と私は思う。私も中山間地のワークショップの代表をしたのだが、実践している人が本当に困っていることは何かと。共同機械でも除草体制を守るために、農道の確保のためにトラクターモアを入れると。ドローンを飛ばさないでも通行道路が除草できないことが現実であることを思うと、参加者の方と私としては、意見のずれが出ているというのが現実である。

【山岸会長】

- ・今後、ワークショップに参加することはできないのか。

【橋爪委員】

- ・私のところに案内は来ていない。だから反対もできない。

【山岸会長】

- ・次に中村委員お願いします。

【中村委員】

- ・吉川版地域活動支援事業ありかと考えている。予算云々もあるかもしれないが、活動支援事業や新しくこういう提案があれば、やっていただきたいと思っている。どのくらいまでの範囲とするかはこれからの見方だ。早急にやる必要があるのであれば手近で慣れたところから始めるのがいいと思う。

【山岸会長】

- ・次に高野委員お願いします。

【高野委員】

- ・吉川区は、山間地、中山間地、平場があり、パラグライダーがあり、水源があり、酒造りがあり、温泉があり、どれも自慢できるものだが、これといって魅力的であるとは言えないのかと思う。どこを中心に発展させるかを考えると祭やイベントを計画して地域中、皆で踊って笑ってというものを地域協議会が計画した方がよいのではないかと思った。

【山岸会長】

- ・次に関澤委員お願いします。

【関澤委員】

・吉川を元気にするという形になれば、各団体大規模な改革というか、私の場合個人的な構想を考えてみたが、ゆったり・酒蔵を活性化させる、四季菜の規模では小さすぎる。もう少しあらゆる道の駅とまでは言わなくても、中山間地のブランド米をあそこに出荷し、春先の山菜は柏崎から沢山買いに来ている。周辺の農家は様々な野菜を作ってあそこに出荷する。米の収入の不足をある程度野菜でカバーする。そして農地は荒廃しないという一石二鳥である。道の駅の用地は裏に十分ある。酒蔵も同時に酒は庶民的な酒、甘酒などいろいろな物産を道の駅を拡大して集中的に売り込む。長峰城を午前中見学してゆったり温泉で昼食をとって帰るという四季おりおりのコースをセットして呼び込む。チラシをまきながら吉川のよさを売り込む。官民というか、観光協会、庶民、皆が巻き込んだ事業を億単位でもよいのだから。吉川凄いなあと議員が驚くような構想案を出して、今、私の頭に浮かんでいるのは具体的には何もなく、皆の利益のため。道の駅を拡大すれば、売り子に若者が来て住んでもらうことができると思う。

【山岸会長】

・次に片桐委員お願いします。

【片桐委員】

・本日の報道にJホールディングス解散へと4社統合すると。大きい規模のところを合併するという。酒蔵も相当老朽化しており、6月26日杜氏の郷の譲渡の説明や回覧も回っているが、それらを考えると、区内で集中して目玉施策がないと駄目である。尾神岳観光、長峰温泉を中心として道の駅の振興が大きなテーマと思う。地域協議会だよりでも発行されるが、5月26日市長の懇談において、公共交通機構交通体系に関心があり、地域コミュニティバスの回答をいただいております、今年は安塚区と牧区で試行運行をするとのことで、市の主要プロジェクトにも上越市住民主導型交通事業補助金もある。これらを勉強してから、また話したいと思っている。

【山岸会長】

・次に江村委員お願いします。

【江村委員】

・道の駅周辺、ゆったりの温泉と長峰城の整備を毎年行っていただき、杜氏の郷も民間譲渡されると思うがあのエリアを活性化すること。私は吉川に来て30年程経つが、昔は高田からの帰宅時に、とにかく尾神と米山の間に行けばいいと思い運転して帰

り着いたことがある。吉川といえば尾神岳。毎年、地域活動支援事業として出しているが、尾神周辺の活性化。今、コロナ禍でやっていないようだが、民泊も7～10年前やっていた。どこに連れて行こうかというと、まず遊ランドで一回山に登りパラグライダーの基地に連れて行くと皆喜び、海まで見える。小学生にパラグライダーを飛ばしたい人はもう少し大きくなったら家の人と一緒に飛んでくださいと言うが、折角空があるのだから飛ぶことが実現できればいいと思った。

【山岸会長】

- ・次に五十嵐委員お願いします。

【五十嵐委員】

- ・昔、ある大学教授の話を聞いたときに、吉川区は観光しない方がよいと言われた。長い間、私の中ではそれが引っ掛かっている。農業を皆さん一生懸命やっている。それだけでは人口の減少を防ぐことは中々難しい。今までの委員が言われたとおり、道の駅をなんとかして吉川を目立たせたいと思っている。尾神をなんとかしたいと考えた時に、尾神の観光が今一つ伸びないのは、アクセス道路が悪い。乗用車のすれ違いができない所であるし、他県のパラグライダーの土地を見ると観光バスがどんどん入れるところにコースが出来ている。それを見ると確かに吉川の道は悪いなあと。確かに上がれば景色もいいしランディングを見れば素晴らしいと思うが、アクセス道を整備するには莫大な費用もかかるし、直ぐには実現は不可能かと思う。メインのところでは道の駅を目立たせたいなど。すぐそばの朝日池農場が工夫して色々やっている。餅つきをやって餅を売ったり、鶏舎もあり卵も売ったり、ある人は「道の駅に無かったけれど、あそこに行ったら安くていい野菜があったわ。」と。これは客を取られてしまう。もう少し工夫する中で道の駅を活性化すべく関係団体と協議をしながら、まず、ここをなんとか提案していきたいと思う。

【山岸会長】

- ・次に佐藤副会長お願いします。

【佐藤副会長】

- ・地域活動支援事業の中からピックアップして継続事業とする。よしかわ道の駅の活性化、尾神岳・遊ランド・パラグライダーなど源地区の3つのエリアを絞って何かできればよいと思う。パラグライダーは吉川にしかなく、道の駅は活性化すれば観光資源となりうるので活用して続けていければよいと思う。

【山岸会長】

- ・次に薄波副会長お願いします。

【薄波副会長】

- ・道の駅は市内3つしかない、そのうちの一つであり、そこを効果的に活用していく事業を行うことがベストだろう。尾神はやはりパラグライダーで全国的規模で行われている事業である。この二つはメインとしてやっていくべきと思う。しかし、道の駅は、杜氏の郷、ゆったりの郷も厳しい状況であり、どうこうするというのは今すぐには難しいかもしれないが、観光という意味合いで賑わう場所にもっていければいい。尾神岳も全国的にも観光で集まっていただけ場所にするべきと思う。しかし、予算作成を考えると地域活動支援事業がなくなって困ってしまうパラグライダーに関する事業の予算を9月には作成したい。ハード事業として林道整備を合わせてやっていただきたい。毎年、林道で車が数台脱輪して落ちているので、あそこを観光スポットとして継続するために来年度事業として提案していきたい。

【山岸会長】

- ・大まかに二つ、観光をメインとする事業、道の駅周辺と尾神岳関連、林道も含めてであるが、観光協会や他の関係団体と意見交換をしなければならない。9月までの提案とするため、関係団体はどこか、どのタイミングで意見交換を行うかを正副会長で絞り込み、それを基に協議したいがどうか。

【五十嵐委員】

- ・提案事業に予算の限度はあるか。10億でも20億でもよいか。

【風間所長】

- ・ソフト事業が中心であり、来年度までに間に合わせるのであれば、意見書又は元気事業であり、活動団体があるところにやっていただくことになる。

【山岸会長】

- ・29日に懇談会もあるが、先日の市長との懇談会では、建前はソフトであるが、関連してハードもあれば排除しないとのことなので、提案事業としてはそれを含んだ内容でよいと思う。私は、機会ある度に中川市長に確認し、押し込みたいと思う。近々あすなる会、吉川区内の各団体の長が集まる会が催されるので、地域予算の話もあると予想している。
- ・折角3部会があるので、4年後の任期までに一つ二つ元気が出る事業提案まで行け

ればよいと考えている。一番具体的に動いているのが、交通部会である。日の目が見れる状態にしたいと思うし、やり方としては行政と協議したい。勉強会も含めて声掛けするかもしれないが、そのときはよろしく願います。

【山岸会長】

- ・次に次第の4（3）その他だが、ゆったりの郷の件だが、近々、株主説明会もあり、総合事務所で説明会もあるようだが、新聞報道を見ますとJホールディングスを解散し、四つの施設が一つになるという記事になっていた。ゆったりの郷は赤字にならずにここまで来ているのに、他の施設と固まってしまって大丈夫かという心配がある。今後の我々の疑問に回答していただくタイミングなどあるか。

【風間所長】

- ・6月10日文教経済委員会の所管事務調査において、第三セクターの経営方針について説明され、新聞報道されたところである。内容はJホールディングス傘下にあった7社中3社が解散・譲渡され、残り4社で事業運営することになったが、吸収合併するなど事業会社として集約化する説明をさせていただいた。市が最大株主として市の方針を議員に伝えた。6月27日Jホールディングスの株主総会で株主に説明し、その後、地域で説明する意向を聞いている。来月の地域協議会で担当部署の者が来て説明する予定でいる。

【山岸会長】

- ・私も以前、ゆったりの郷にいたが、Jホールディングスを立ち上げたときに、これは解散会社だなど。市が最大株主ではあるが、市が整理しないで、Jホールディングスに解散させようとしている認識をもった。ゆったりの郷は場所がいいので人が来ている。ゆったりの郷独自で経営できるのか皆プールされるのかが、一番不安で来月聞かせていただけるということだ。株主総会の報告もできればいいと思っている。

【山岸会長】

- ・ほかに何かあるか。

【平原班長】

- ・地域協議会だより44号について、この間、関澤委員、片桐委員、高野委員と編集作業を進め、事前に初稿、そして今回第2稿を配付した。今回の内容は、今年採択された地域活動支援事業の紹介、5月26日の市長との意見交換、区独自事業などに

対する住民の皆さんからの意見募集といった内容となっている。初稿として配付したものの誤字等を修正し、編集後記を掲載したものが第2稿となっている。意見やご指摘がなければ、この2稿をもって最終稿としたい。また、本協議会後に編集委員会を開く。

【山岸会長】

- ・次に、次第の5総合事務所からの諸連絡についてである。

【平原班長】

- ・企画政策課から上越市「主要事業・プロジェクトの概要」と共生まちづくり課から「令和4年度上越市市民大学開講」のご案内を会議資料と一緒に届けており、確認いただきたい。

【江村委員】

- ・上越市「主要事業・プロジェクトの概要」の40ページに「チップ材を活用した緩衝帯の整備」は河沢地内で行われている。

【山岸会長】

- ・次に次第の6その他であるが、何かあるか。
(案件は無かった。)

【山岸会長】

- ・それでは、次回の地域協議会は、7月21日(木)18時30分から吉川コミュニティプラザで行う。それまでに勉強会などあれば、早めにお知らせする。
- ・それでは閉会の挨拶を薄波副会長からお願いします。

【薄波副会長】

- ・来年度に向けて協議すべきことが沢山あるのであれば、意見を出して欲しい。
- ・以上で第4回地域協議会を閉会する。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：025-548-2311 (内線213)

E-mail：yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。